

# 統合病院への交通アクセス整備

## 道路整備の早期完成に努める



中村 勝吉 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 県立花巻厚生・北上統合病院(仮称)への交通アクセスとして重要な市道上浮田北上線の浮田

地内、国道456号の前郷地内、主要地方道北上東和線の安俵・南成島地内の一部が未整備で、交通事故の発生が懸念される。早期に整備が必要と思うがいかがか。  
**A(市長)** 市道上浮田北上線は、順次整備を行い、早期完成に努める。また、

国道456号と主要地方道北上東和線については、早期に歩道整備が成されるよう引き続き要望していく。市全域を考慮しながら統合病院へのアクセス道路を整備していく。  
**Q** 国保会計における平



平成20年度の開院を目指す県立花巻厚生・北上統合病院(仮称)

# 民生児童委員数減少の影響

## 地域の中での支え合いが必要



伊藤 英一 議員  
(明和会)

**Q** 民生児童委員は独居老人への支援などの日常生活支援をはじめ、災害時の対応など様々な活動

を行っている。しかし、合併により委員数が減ること、活動に支障が出るのが考えられ、何らかの代替の措置が必要と思われる。減員数と対応について伺う。  
**A(保健福祉部長)** 民生児童委員は現在268人で、本年12月からは246人と

なる見通しである。定数減となる地域は、活動範囲や担当世帯が増加することから、要援護者に対しては、委員のみならず地域の中での支え合いがますます必要になると考える。今後、関係機関や団体等と連携しながら協働による安心して生活で

### 圃場整備支援策は

農業生産基盤の整備について、大規模圃場整備区域から外れた地区への支援策について伺う。  
**A(市長)** 大規模以外の圃場整備事業については、県営中山間地域総合整備事業(受益面積20ha以上)および団体営事業の非公共基盤整備促進事業(受益面積5ha以上)がある。

きる町づくりに取り組んでいく。



月に1度開かれる民生児童委員協議会(写真は東和地区の民生児童委員協議会)

# 産褥期の家事支援と夜間保育

## 情報提供と実施について検討



藤井 英子 議員  
(平和環境社民クラブ)

**Q** 産褥期(※)における家事支援について、ファミリーサポートセンターの活用等、市の対応は

どうなっているのか。また、夜間保育について、ニーズ調査の実施の有無、必要としている人への情報提供の必要性をどのように考えているか伺う。  
**A(市長)** 母子健康手帳の交付時に相談を受け付けており、食事や乳児の

世話が必要な方には、ファミリーサポートセンターや家事援助の実施事業所を紹介している。夜間保育については、市内全域の調査は実施していないが、東和地域でアンケート調査を実施し、回答者の7.5%が利用したいと回答している。

救急のニーズが高まってきている中で、女性消防士の誕生が待たれるところであるが、見通しはどうか。  
**A(総合防災部長)** 女性にも受験しやすいように、身体条件を緩和しているが、受験者が少ない状況である。今後もPRに努めていく。



ファミリーサポートセンターでは、保護者の方を支援する「あずかり会員」を紹介しています

※「産褥期」=妊娠及び出産を原因として発生した全身の変化が、妊娠前の状態に戻る期間のことで、出産後約6週間とされている。



市民課では各種無料相談会を定期的開催しています

# 庶民大増税への市の対応は 関係部署と連携し周知に努める



照井 明子 議員  
(無会派)

**Q** 定率減税廃止により、6月から住民税が事実上増税となった。住民からの苦情・相談に対応

する専門窓口を設置する考えはないか。また、要介護者も認定されれば障がい者控除の対象となるなど、申告すれば節税できる制度や、軽減措置等を住民に周知すべきと考えるがいかがか。  
**A(財務部長)** 税制改正

いは、広報への掲載や納税者への通知等で、周知に努めている。また、申告相談や様々な相談を受ける中で、必要に応じて対応しており、今後専門の窓口を置くことなく、柔軟な対応をし、関係部署と連携を図りながら周知に努めていく。

### 多重債務者の救済策

盛岡市では「多重債務者包括支援プログラム」を設け、多重債務者の生活再建の支援に本格的に取り組んでいる。本市での実施の考えはないか伺う。  
**A(生活環境部長)** 当市では、相談窓口の開設、弁護士、司法書士等と連携した債務整理や過払い利息の返還についての支援などを行っている。